



2026年3月16日

各位

会社名 株式会社REVOLUTION  
代表者名 代表取締役社長 砂川 優太郎  
(コード番号 8894 東証スタンダード)  
問合せ先 代表取締役社長 砂川 優太郎  
(TEL. 03-6627-3487)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、子会社に対する行政処分（2026年2月20日付「当社子会社に対する行政処分に関するお知らせ」）及び最近の業績の動向等を踏まえ、2025年12月15日付「2025年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました2026年10月期の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2026年10月期の連結業績予想の修正（2025年11月1日～2026年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	47,617	3,967	3,679	△3	△0.03
今回修正予想（B）	46,336	4,529	4,201	△382	△3.28
増減額（B－A）	△1,281	562	522	△379	－
増減率（％）	△2.7	14.2	14.2	－	－
（参考）前期実績 （2025年10月期）	34,570	△4,150	△3,434	△17,232	△148.53

#### （参考）2026年10月期の連結業績のうちクラウドファンディング事業の業績予想の修正

	売上高	営業利益
	百万円	百万円
前回発表予想（A）	42,529	4,029
今回修正予想（B）	43,079	4,540
増減額（B－A）	550	511
増減率（％）	1.3	12.7
（参考）前期実績 （2025年10月期）	31,239	△3,388

## 2. 修正の理由

### (不動産事業)

不動産事業においては、当初予想の売上高予想数値約 50 億円について、当社の事業展開及び契約等の進捗などの現況を勘案して約 30 億円に見直しましたが、既存取引先等との調整・交渉等によってコスト削減などを実行したため、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想とほぼ変わらないものと見込んでおります。

### (クラウドファンディング事業)

クラウドファンディング事業については、2026 年 2 月 20 日付開示資料「当社子会社に対する行政処分に関するお知らせ」にてお知らせいたしました通り、当社連結子会社であるヤマワケエステート株式会社の不動産特定共同事業に係る業務の一部（不動産特定共同事業契約の締結、締結の代理又は媒介をする行為及び不動産特定共同事業契約の締結を勧誘する行為）が 2026 年 2 月 24 日から 60 日間停止（以下、「本業務停止」といいます。）になりました。

当社及び当社子会社では、2026 年 2 月 20 日付開示資料「当社子会社に対する行政処分に関するお知らせ」における「5. 岡本案件と阿嘉島案件の償還延長解消のめどについて」に記載のとおり、クラウドファンディング事業の収益性維持または更なる成長のため、当社グループ一丸となって、現在のクラウドファンディング事業における償還延長等の解消を行うことによる信頼回復に注力してまいります。

本業務停止について、今回の業績予想修正では、業務停止期間の 60 日間において当初想定していた新規のファンド募集手数料 4 億円等を売上高や段階利益の下方修正要因として反映いたします。

他方で、ファンド組成に関して当初の計画から大きな変更はありませんが、第 1 四半期における売上高が当初想定していた計画値よりもより好条件での売却ができたこと等によって当初予想より増加したことによって利益率が改善しました。

また、2026 年 2 月 20 日付開示資料「当社子会社に対する行政処分に関するお知らせ」における「5. 岡本案件と阿嘉島案件の償還延長解消のめどについて」において「すくなくとも投資家の方々へ元本の償還が可能な内容で第三者の協力会社との間で売買契約等を締結し、2026 年 5 月末以降の決済に向けて準備を進めている」と公表していた償還延長中の「東京都世田谷区 岡本 バリュアアップファンド/リセール」及び「沖縄県阿嘉島 リゾートヴィラファンド/リセール」の 2 件のファンドの売却に伴って利益が生じる予定ですが、当該 2 件の売買契約はそれぞれに特約条項が付されており、条件充足後に売却しファンドの償還となる予定です。この 2 件の売却およびファンドの償還時期については、現時点で未定であり、2026 年 2 月 20 日付開示資料「当社子会社に対する行政処分に関するお知らせ」における「5. 岡本案件と阿嘉島案件の償還延長解消のめどについて」において「2026 年 5 月末以降の決済に向け準備しておりますが、決済後速やかに当該投資家への償還を行う予定」と既に公表している状況から変わりありません。

なお、上記の 4 億円を除いた本業務停止に伴う行政処分明けのファンドの新規募集業務などのその他の影響については、当社では合理的に算定することが難しいため、今回の業績予想の見直しにおいて反映させておりません。

### (通期連結業績予想の修正)

売上高については、不動産事業の約 20 億円の見直しやクラウドファンディング事業における本業務停止に伴う 4 億円の減収要因があるものの、クラウドファンディング事業における売上高増加で補うことで 1,281 百万円減少の 46,336 百万円を見込んでおります。

営業利益及び経常利益については、売上高は減収となるものの、不動産事業のコスト削減、クラウドファンディング事業の利益率改善や償還延長中の 2 件のファンド売却益によって、それぞれ 562 百万円増加の 4,529 百万円、522 百万円増加の 4,201 百万円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、営業利益及び経常利益が増益となるものの、上記に記載の事由等によって匿名組合損益分配額が当初予想から約 11 億円増加する予想となったこと等により、379 百万円減少の▲382 百万円を見込んでおります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。